

能

The world premiere of *Noh: Romeo and Juliet* in Japanese シェイクスピア作 悲劇『ロミオとジュリエット』による

『ロミオとジュリエット』初演



2015年
12月8日(火)

午後6時半開演(5時45分開場)

東京・国立能楽堂

National Noh Theatre at Sendagaya, Tokyo

(JR千駄ヶ谷駅より徒歩5分)

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

TEL: 03 (3423) 1331

- 原作／上田(宗片)邦義
- 節付・作舞／野村四郎
- 演出／笠井賢一
- 出演者／シテ(ロミオ)・野村四郎

ツレ(ジュリエット)・鶴沢久

ツレ(乳母)・鶴沢光

ツレ(パリス伯)・野村昌司

ツレ(ヴェローナ大公)・藤波重彦

アイ狂言(ロレンス法師)・三宅右近

笛・松田弘之 小鼓・古賀裕巳

大鼓・大倉正之助 太鼓・徳田宗久

地謡・坂真太郎、長山桂三、青木健一

後見・武田尚浩、浅見慈一

- 衣装／細田ひな子

主催：国際融合文化学会(会長:上田(宗片)邦義)

後援：公益財団法人日伊協会

在日イタリア大使館

ブリティッシュ・カウンシル

若者よ 恋せよ 争いを望むな
——
平和への想いをこめ シェイクスピア没後400周年に先がけて ——

能・『ロミオとジュリエット』初演

解説

舞台はイタリア北部の美しい町ヴェローナ。

互いに憎みあう名門、モンタギュー家とキャピュレット家。その一人息子と一人娘が仮面舞踏会で出会い、たちまち恋に落ち、秘かに結婚。だがその日、男は街で決闘に巻き込まれ、相手を刺したかどで国外退去を命じられる。

嘆き悲しむ女は両親からほかの男との結婚を迫られ、眠り薬で結婚を回避するが、一方、目覚めたところを迎えに来るはずの男に想定外のことが起こって…。

新脚本作者、上田（宗片）邦義はこれまでシェイクスピアの四大悲劇（『ハムレット』『オセロー』『マクベス』『リア王』）を能に制作、英語では自らもシテを演じ、日本語では能楽師たちにより演じられ好評を博した。それらはいずれもシェイクスピア中期の悲劇であった。今回の『ロミ…』は、シェイクスピア初期の叙情美あふれるロマンティック・トラジディ。これを能舞台でどのように展開して見せてくれるのか。

演者は、シテ（ロミオ）を日本能楽協会会長の野村四郎親世流能楽師（78）が、そしてツレ（ジュリエット）を今や女流能楽師の第一人者、鶴沢久（ひさ）が演ずる。本邦初演。

作者上田はこの能上演のモットーとして次の三つを挙げている。

- ・ 初めて能を観る人にも分かりやすく面白い能。能入門。
- ・ 青春を生きる喜び、苦しみ、悲しみを追体験する。
- ・ 原作者シェイクスピアがこの悲劇で意図したものは何か。それを考える。

「調和と融合」をモットーとする国際学会を主宰する上田が、今度は果たしてどのような新作能を見せてくれるか、乞うご期待である。



●野村四郎 シテ（ロミオ）

略歴

昭和11年、和泉流狂言方野村万蔵（人間国宝）の四男として東京に生まれる。兄に狂言方の野村萬、万作。昭和15年狂言『朝寝』で満3歳で初舞台。以来15歳まで狂言師として舞台に立つ。昭和27年先代親世元正宗家に入門。以来能役者として今日に至る。親世流の長老として、老女物の全てを披露。芸術選奨文部大臣賞受賞、紫綬褒章受賞、芸術院賞受賞、親世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。東京藝術大学名誉教授。日本能楽協会会長。



●上田（宗片）邦義

略歴

昭和9年山形県鶴岡市生まれ。シェイクスピア四大悲劇を能に制作、自ら英語能として国内外で公演、漱石が明治44年に提唱したシェイクスピア能を実現。英国マンチェスターでの英語「Noh Hamlet」独演（2012）は短縮版がYouTubeに。日本語最新作能に『リア王』『ボトマック桜』。著書に『ブライズ先生、ありがとう』ほか。2015年春の叙勲で「瑞宝中綬章」受賞。静岡大学名誉教授。国際融合文化学会会長。（E-mail:kuniyoshi@munagumi.com）

2015年12月8日 火

午後6時半開演（5時45分開場）

●主催

国際融合文化学会（<http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~ISHCC/>）

●後援

公益財団法人日伊協会（<https://www.aigtokyo.or.jp/>）

在日イタリア大使館（http://www.ambtokyo.esteri.it/Ambasciata_Tokyo）

ブリティッシュ・カウンシル（<http://www.britishcouncil.jp/>）

●入場料：全席指定、前売り料金、当日購入の場合は1,000円追加、学生は1,000円引き

チケット／ S席 10,000円 A席 8,000円
B席 6,000円 C席 4,000円

●チケット申込先

【E-mail】 zenta@ca2.so-net.ne.jp（菊地）

【Tel】 090-4432-2941（平井）

【電話の受付日と時間】

月・水・金曜 10:00～14:00 / 土曜 9:00～10:00



国立能楽堂 HPより(<http://www.ntj.jac.go.jp/nou/access.html>)

●JRをご利用の場合

中央・総武線 千駄ヶ谷駅下車 徒歩約5分

●地下鉄をご利用の場合

大江戸線 国立競技場駅下車 A4出口から徒歩5分

副都心線 北参道駅下車 出口1から徒歩7分

●都バスをご利用の場合

早81（渋谷-早大正門）千駄ヶ谷駅下車 徒歩約5分

黒77（目黒-千駄ヶ谷駅前）千駄ヶ谷駅下車 徒歩約5分

※駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮ください。